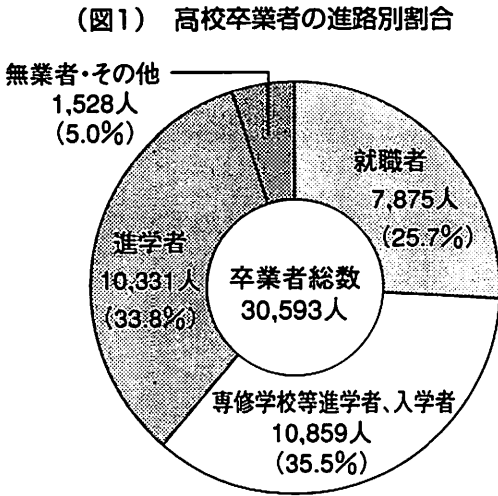


グラフで見る高卒就職状況

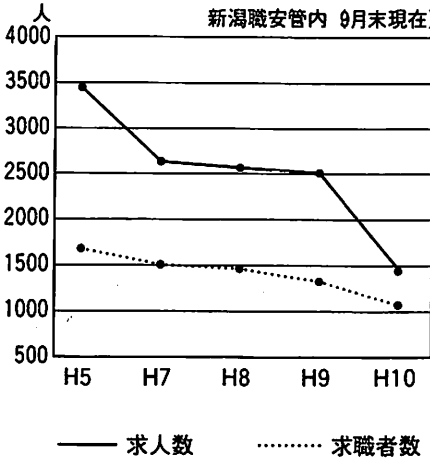
(図1) 平成一〇年度学校基本調査(県教委)によれば、平成九年度(二〇・三卒)の高校卒業者の進路別割合は、大学・短大進学三三・八%(全国四二・五) 専門学校進学三五・五%(二七・四)、就職者三三・八%(二二・二)となっている。



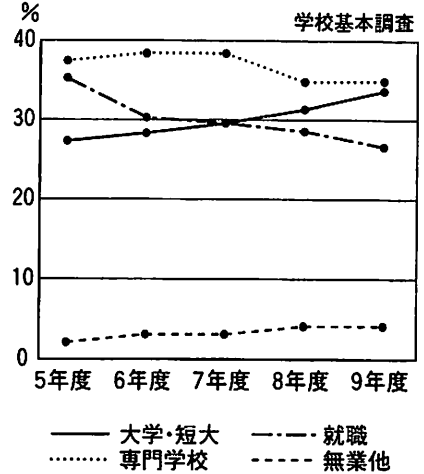
(図2) 五年前の平成五年度卒業生では大学・短大二六・三%、専門学校三六・四%、就職三三・八%であったが、大学・短大進学者が七・五%増加し、就職者が八・一%減少している。就職者の内、県内就職者は八八・二%(H五 八三・七%)、県外就職者は一一・八%(H五 一六・三%)となっていて、五年前と比較すると県内就職が四・五%増加し、その分県外就職が減っている。卒業生総数も三三、七七六人から三〇、五九三人へと減少し、今年度高校三年生は二、〇〇〇人減って二八、四四三人である。

(図3) 新潟職業安定所の過去五年間の管内求人数、求職者数とともに減っているが、求人落ち込みが大きい。求人倍率(九月末現在)を見ると、平成六年の二・〇四倍から年々低下し、特に今年の一・三二倍と激減した。新潟職安の場合は、管内求職者に加えて管外からの求職が例年六〇〇〜七〇〇人あるために非常

(図3) 過去5年間の求人数、求職者数の変化



(図2) 高校卒業者の進路別割合



(図4) 10年度高卒職業紹介状況

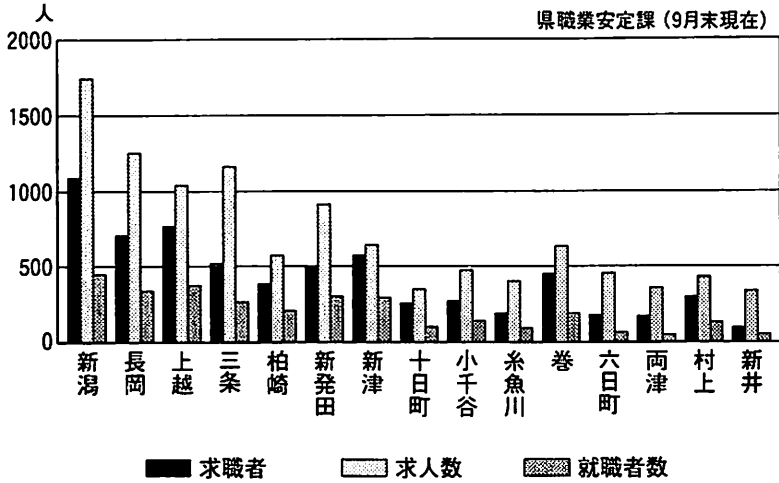
(9月末現在) 県職業安定課資料

| | | 本年 | 前年 | 増減率 | |
|----|----|-------|--------|--------|-------|
| 求職 | 計 | 6,271 | 6,985 | ▲10.2 | |
| | 男 | 3,103 | 3,440 | ▲9.8 | |
| | 女 | 3,168 | 3,545 | ▲10.6 | |
| 求人 | 総数 | 計 | 10,678 | 17,726 | ▲39.8 |
| | | 不問 | 3,619 | 4,332 | ▲16.5 |
| | | 男 | 4,421 | 9,046 | ▲51.5 |
| | 女 | 2,638 | 4,348 | ▲39.3 | |
| | 県内 | 計 | 7,148 | 13,310 | ▲46.3 |
| | | 計 | 3,530 | 4,416 | ▲20.1 |
| 就職 | 計 | 2,861 | 3,891 | ▲26.5 | |
| | 男 | 1,499 | 2,119 | ▲29.3 | |
| | 女 | 1,362 | 1,772 | ▲23.1 | |

に厳しくなっている。今年も求人数の激減で最悪の状況となった。男女別求人数で見ると、求職者数が男女ほぼ同数なのに対して求人数は女子が男子の約半しかなく、女子に厳しい実態である。

(図4) 県職業安定課の資料(9月末現在)で見ると求人数は前年比三九・八%減(七、〇四八人減)の一〇、六七八人と最悪の状態であった。内訳は男子五一・一%減、女子三九・三%減である。求職者数が前年六、九八五人から六、二七一人へと減少(一〇・二%減)しているのに、求人落ち込みが大きかったために求人倍率は前年二・五四倍から一・七〇倍に激減した。就職

(図5) 高卒職安別求人、求職者数



率（一次内定率）も昨年の五五・七%から四五・六%へと一〇%も低下する結果となっている。内訳は男子四八・三%、女子四三・〇%である。

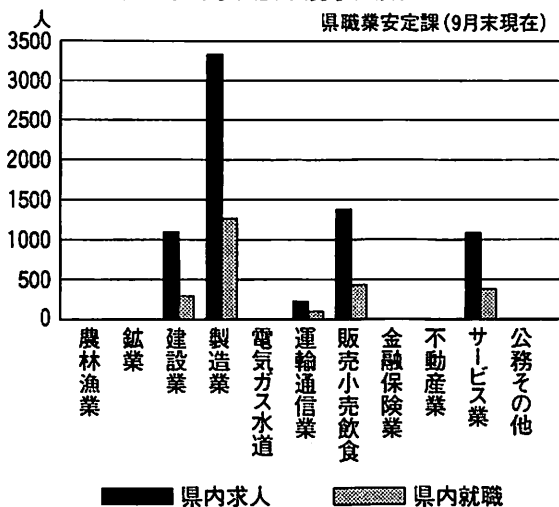
(図5) 職安別求人倍率は二倍を超えているのが五職安であり、一〇職安は二倍未満であった。特に低いのは新津、上越、村上であり、高いのは新井、六日町、糸魚川であった。県全体では一・七〇倍であった。

次に、一次試験の就職率（内定率）は五〇%を越えたのが新井、柏崎、新発田、糸魚川、村上で、他は五〇%未満であった。さらに三〇%台は両津、巻、六日町、十日町であった。県全体では前年比一〇%減の四五・六%と非常に厳しくなっている。

(図6) 県職業安定課の資料で産業別求人数を見ると製造業が四六・一%、販売業一八・七%、建設業一五・四%、サービス業一五・一%となっている。

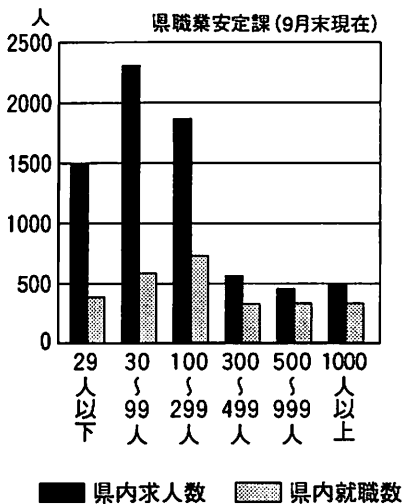
(図7) 職種別求人数は、製造関係が四五・一%、事務・専門関係一五・四%、販売関係一二・二%、建設・電気作業関係一一・三%、サービス関係一〇・九%である。求人が産業別、職種別で見ても製造関係が圧倒的に多いのに、生徒の希望職種（事務・専門、販売、サービス関係）と合致しない実態が表れている。

(図6) 高卒産業別求人人数



(図8) 規模別求人人数では三〇〇人以下の企業が七九%、一〇〇人以下が五三%と県内就職は中小企業が多い実状を示している。
(小島寿夫)

(図8) 高卒規模別求人人数



(図7) 高卒職種別求人人数

